

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第40週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (40週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 4 例。
4 類感染症：日本紅斑熱 3 例、レプトスピラ症 1 例。5 類感染症：梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核	咳、痰
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	食欲低下、全身倦怠感
		延岡	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O121(VT2)
		高鍋	10歳代	男	無症状病原体保有者	O115(VT1)
			10歳代	女	無症状病原体保有者	O26(VT1)
			80歳代	女	—	腹痛、血便、O26(VT1)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、発疹、肝機能異常
		日南	60歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
		小林	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、倦怠感
	レプトスピラ症	日向	60歳代	男	—	発熱、結膜充血、蛋白尿、腎不全
5類	梅毒	宮崎市	40歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	丘疹性梅毒疹、眼症状
		小林	30歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	初期硬結、硬性下疳

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は306人(定点当たり8.7)で、前週比131%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

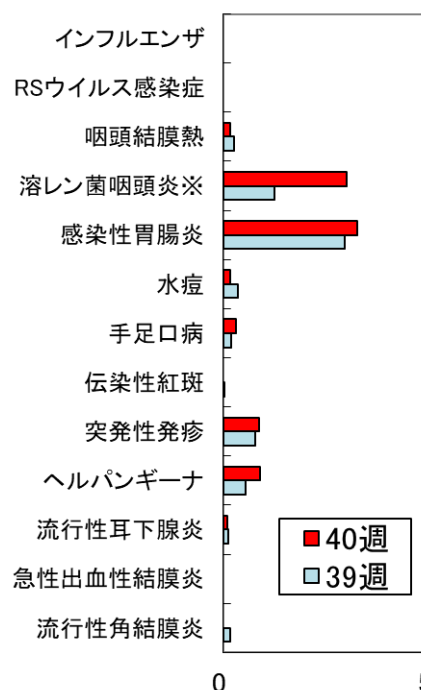
報告数は105人(3.0)で、前週比235%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約2.1倍であった。日南(10.0)、延岡(9.5)、宮崎市(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は4~6歳が全体の約4割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は31人(0.9)で、前週比168%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.0)の約0.9倍であった。中央(5.0)、都城(1.7)、宮崎市(1.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

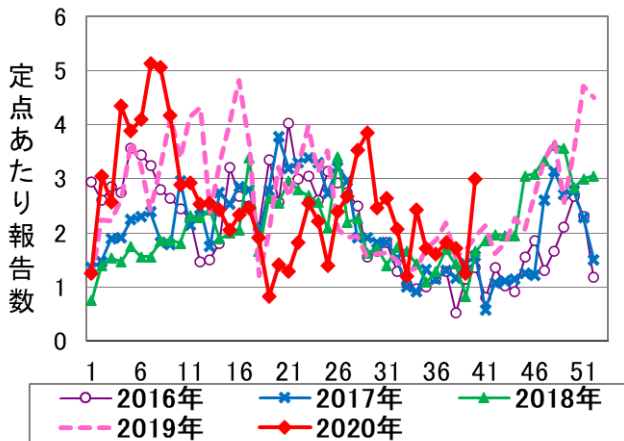
《前週との比較》



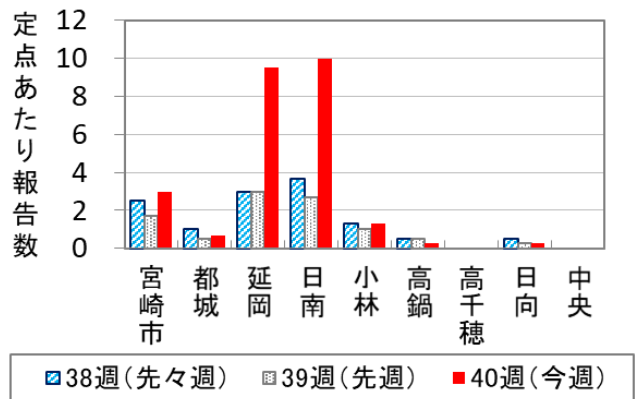
0 5 定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

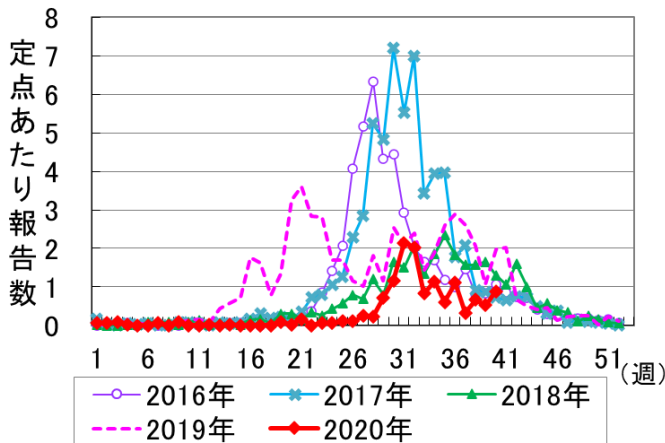
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



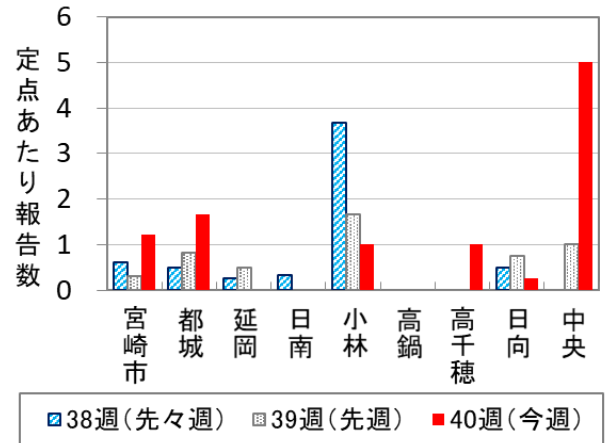
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.5)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(2.0)

※流行警報レベル開始基準値※
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
 ・水痘(2)

🇯🇵 全国 2020 年第 39 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 39 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	162 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	76 例				
4類感染症	E 型肝炎	2 例	エキノコックス症	1 例	回帰熱	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	日本紅斑熱	8 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	48 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	8 例
	梅毒	45 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	6 例				

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 76%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はヘルパンギーナ、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 1,520 人(0.5)で前週比 76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 0.3 倍であった。鳥取県(2.3)、長崎県、福岡県(1.6)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 4,523 人(1.4)で前週比 78%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)の約 0.5 倍であった。宮崎県(2.9)、大分県(2.8)、岡山県、鹿児島県(2.5)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2020年 第40週(09月28日～10月04日)

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	6	2	1	1		1	1			
	定点当り	0.25	0.17	0.22	0.17	0.25	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	46	105	27	4	38	30	4	1		1	
	定点当り	1.28	3.00	3.00	0.67	9.50	10.00	1.33	0.25	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	107	114	22	29	4	16	14	8	2	17	2
	定点当り	2.97	3.26	2.44	4.83	1.00	5.33	4.67	2.00	2.00	4.25	2.00
水痘	報告数	13	6	3			1					2
	定点当り	0.36	0.17	0.33	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
手足口病	報告数	7	11	2	7				1		1	
	定点当り	0.19	0.31	0.22	1.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	30	9	5	4	5	1	1		3	2
	定点当り	0.78	0.86	1.00	0.83	1.00	1.67	0.33	0.25	0.00	0.75	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	19	31	11	10			3		1	1	5
	定点当り	0.53	0.89	1.22	1.67	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.25	5.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	3		2	1						
	定点当り	0.11	0.09	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

* 第39週の報告数に一部修正があります。

● 全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～40週)

2類感染症	結核	123例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21例(4)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	5例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	12例(3)
	レプトスピラ症	1例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	2例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	7例	梅毒	18例(2)
	破傷風	5例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	365例		

()内は今週届出分、再掲